

発行所

石川県保険医協会

〒920 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373 番
FAX (0762) 31-5156 番
発行人 高松弘明
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間 5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

- 2面 軽井沢セミナー
- 3面 要請書に寄せられた意見
- 4面 日本の薬価は高い
- 5面 1996年協会トピックス
- 6面 職員雇用に関する懇談会
- 7面 お訪ねします「林 形成外科」
- 8面 サイコソジカル ショートショート19

断固反対!

医療保険改悪

長野駅前で街頭宣伝も

長野で北信越ブロック討論集会



北信越5県から37人が集まって開かれた討論集会

十一月九日・十日の両日にわたり、長野市で北信越ブロック討論集会が開かれた。石川協会からは安藤(医)、佐々木(歯)、梶(歯)、神田(事)、杉野(事)が出席した。

このたびの討論集会の主題は、①今年七月から施行された新指導大綱による各県の指導の実態とその対策 ②政府のもくろむ医療制度改革に反対する運動の各協会における現況と今後の取り組みである。

指導問題について、石川協会からは三人の役員が被指導体験を紹介し、合わせて医科の指導時間帯が診療終了後である点で他県より有利であることも報告した。

富山協会と新潟協会からは、詳細な資料が提示され、その精力的な取り組みが評価された。これらの貴重な情報が早急に得られるのは

十一月九日・十日の両日にわたり、長野市で北信越ブロック討論集会が開かれた。石川協会からは安藤(医)、佐々木(歯)、梶(歯)、神田(事)、杉野(事)が出席した。



安藤副会長もマイクを握って

医心凡語

辞職した厚生省の岡光元事務次官は、過去十年近く「厚生行政の司令塔」だった。「ゴールド・プラン」と称して特養ホームの増設を主張し、入所できない高齢者には「社会的入院の排除」と「在宅医療」を推進し、高齢者の生命と威厳を無視した張本人である。

在宅医療というが、家族に高齢者の介護をする経済的、時間的、空間的な余力があるか、日本家屋の構造形式と圧迫する経済不安の中で大きな疑問が残る。しかし現実のゴールド・プランは、厚生省高級官僚の「賄賂・私腹肥やし」プランだったことが明白となった。

若き厚生省エリート官僚の茶谷は、議員をめざし、個人に利益誘導した。もう、腐敗しきった厚生省が示す保険点数も薬価も「保険財政が赤字だから患者の自己負担額を増やす」も信用できない。

橋本首相も現在の小泉厚生大臣も有名な「厚生族」である。厚生族議員には官僚以上の想像を超える優遇があっても不思議ではない。

医師として保険医として厚生省誘導の保険点数の改悪、指導大綱改悪、介護保険、無責任な在宅医療に抗議し、ノート叫びたい。私たち保険医は、厚生省の奴隷や小作人だけにはなりたくないから。

持論

保団連は、政府・厚生省の医療保険制度改革を阻止する大運動の完遂に向け、全会員に協力をお願いしている。改革構想、とくに「当面の重点事項」は連日マスメディアで報道され、周知のごとであるが、それと呼応した財界各団体の医療制度改革への厚顔な提言には、目に余るものがある。

本年六月二十一日及び七月三十一日に発表された医療保険審議会の改革案は、実は昨年末、大蔵省主計局厚生第三係「かの高名な中川主査」が考案した医療費適正化対策の指示に従って、厚生官僚が審議会を「隠れ蓑」

経済の構造的不況の打開は医療・福祉・年金の「充実」で!

にリークして、国民の合意を取り付け、大改革を実施しようという戦術である。

経済と整合性のとれた医療保険制度創設を最大の眼目にうたうが、昨今の経済動向すら正確に予測できない大蔵官僚に、整

に使い、具体化したものである。その内容は、医療保険財政が破綻の危機にあるという前提で構成されており、出発点ですでにわれわれの認識と合致しない代物である。一方的に保険財政の危機及び医療費の無駄を国民

合性という科学的な言葉を安易に使ってもらいたくない。福祉医療という国民の心の内面に係る施策は、経験豊かで内政全般に精通した人材で協議策定されるべきである。

尊重しながら、医療・福祉・年金の「充実」こそが経済の構造的不況を打開するという「信念」に立ち改革案を練り直すべきである。さらに、世界に誇れる成熟社会を実現する具体策を提示し、青少年に夢を与えるべきであらう。

は、老後の福祉、医療に不安を抱いており、必要な給付が保障されるなら応分の負担をしようと。厚生省は、視野の狭い大蔵省原案を放棄し、むしろ昨年七月の社会保障制度審議会の答申を

第二次橋本内閣は、行財政改革の先駆けとして介護保険法案(臨時国会に提出済)及び医療保険改革法案を次期通常国会に提出する予定である。早急にやるべき行財政改革が多くある中で、今回の大蔵官僚主導のトンでもない医療保険改革は絶対に容認できないのである。会員各位の一層の奮闘協力が求められている。

同時に街頭での署名活動も行い、約一時間、国民の健康と生活を守るためには、たとえ非力であっても一所懸命に頑張るとの思いが、いくらかでも住民の方々に伝わっただろうか。

11月度 理事 会 点 描

まず、報告事項。総務部からは医療廃棄物実習会に四十五人の参加があったこと、経営・共済部からは医療従事者接遇講座に二百七十人もの参加があったこと、学術・保険部からは黄色いハガキの事例と施設嘱託医の保険請求上のトラブルについての報告があった。

医療福祉部からは保団連地域医療対策部会に出席した喜多理事の報告で、「在宅ケア推進の新提言案」の討論と、長岡京市の好例について説明された。

協議事項の主題は、協

第13回 理事会 反対運動を 全力で (11月5日・13人出席)

会が現在鋭意取り組み中である政府の医療制度改革構想反対運動である。目標、署名異論への対応策について討議を交わした。「患者持ち帰り署名」の集まりは順調だが、「医師署名」の出足は鈍く、さらに工夫を要する。今秋の医療運動では、今後、対外的にも、北信越ブロック討論集会や全国保険医総決起大会と続いており、理事会役員としてできるだけ参加するよう要請された。

医療保険財源悪化の追求、社会保障としての医療を守る理念から、今秋の協会活動を成功させたい。

(安藤 記)

医療保険審議会から「老人定率化一〇二割、健保本人二割、薬剤三〇五割負担」の答申が出されてから、協会の反対署名に参加する会員数が急増し、署名総数も簡単に二万人を突破した。

その上、厚生行政のトップたる事務次官の巨額の賄賂が公になり、医療保険制度改革反対の気運は理事会でもボルテージがグンと上がったようである。

長野市での北信越ブロック討論集会では、当日の白衣の街頭宣伝も行われ、富山県保険医協会は十万人の意見広告を出す、福井県でも白衣の街頭宣伝を

第14回 理事会 反対署名が 過去最高に (11月19日・13人出席)

人反対署名の運動中、新潟県では地元新聞に七段とが報告された。

十二月一日の全国保険医総決起大会(東京)へ参加する六人のメンバーも決まった。

その外「職員雇用に関する懇談会」も参加者五十人の盛況で、来年の継続開催が決まった。

「秋の食べ歩き」も盛況に終了。「福祉マップ」の改訂第四版の編集委員が確定したことなどが報告された。いつもながら盛り上がった理事会であった。

(井沢 記)

第9回 軽井沢セミナー (報告)

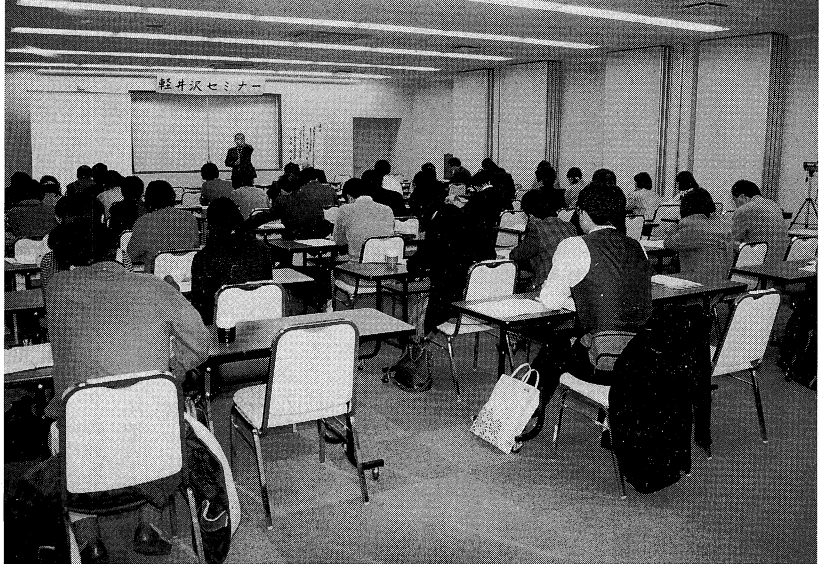
成人歯科保健を積極的に

平田 米里 (野々市町・歯科)

長野県保険医協会の主催で十一月十七日、軽井沢セミナーが開かれた。このセミナーは、今回で九回目の開催になり、私も四回ほど参加した。

今回、歯科医の私としては、午後の北原稔氏の講演に絞って報告させてもらうことにする。

現在、厚木保健所予防課技幹である氏は、早くから成人歯科保健を提唱し続けてきた一人である。後に厚生省、歯科医師会に採用される「八〇二〇運動」の前身、「八〇一〇」の発案者でもある氏の報告のなかで、石川県保険医協会歯科部として興味を持った活動を紹介する。



今年で9回目を迎えた軽井沢セミナー

全国的には、訪問歯科診療が特別なことではなくなりつつある現在、次の段階(医療費の削減の手助け)として実施していることがある。

それは休眠(潜在化)している歯科衛生士を新しい労働力として掘り起こし、これを組織化し、歯科衛生士の訪問診療の事業化に発展させたということである。その方法は、第一回の訪問では、歯科衛生士と一緒に歯科医師による検診、スライド撮影をし、ケースの検討をする。計画を立ててから再訪問、それを続ける。後任者にも前回までの流れや、病態の変化が理解できるようにする記録チャートを整備作成する、というものである。

この活動内容も、B・D・R(ブラッシング、デンチャー・リンス)という新しい基準を作ったり、PTC、P・MTCの変法としてP・O・C(プロフェッションナル・オーラル・クリーニンク)のマニキュア化をした

会 の 理 念 に 則 っ て

本年度第二回目の会議。午前中は「新保険業法と共済制度との関わり」について、明大商学部の中野直志教授の講演を聞いた。新保険業法は、バブル後の規制緩和と外圧に対する経営基盤の強化であるというが、保険契約者保護という名目で大蔵の保険監督の絶対権限強化や、許認可をめぐって政・官・財の癒着の可能性が内包されているということが指摘された。共済制度については、会員の互助制度として民主的な運営として実施していることがある。

資金の運用にも会の理念から乖離しないことが大切と指摘された。

保険医年金と休業保障制度の一九九六年の収支決算報告があり、承認された。討議の中では、弔慰金を全会員を対象とする制度に普及できないか討論され、財源問題が検討された。また、現在各地域でそれぞれ行われているグループ保険(掛け捨ての生命保険)を全国規模に発展させ、掛け金をより安価なものにできないか提案検討された。

指導相談窓口を開設

指導の際の指摘事項や相談事例などぜひ当会事務局までお寄せ下さい。役員・事務局一体となつてご相談に応じます。

TEL0762(22)5373
FAX0762(31)5156

用 碁 解 答

ハネるとコウに受けられます。
9(7) 10(5)

「医療保険制度改善などに関する要請書」に寄せられた私の意見

12月14日現在、医科会員291人(47.9%)、歯科会員52人(22.8%)からの署名が寄せられました。この署名は、12月12日に開かれた保団連中央行動において、厚生省の鈴木俊一政務次官に提出してきました。

〈医科〉

●医学と矛盾するような制限を止め(薬効など)、有効な治療ができるようにしてもらいたい。(小松市・耳鼻咽喉科)

●人工関節、人工靭帯、コルセットなど医療材料の不当な高価を是正して、医療費の高騰を是正すること。(小松市・整形外科)

●小泉殿は、上記のことをやろうとしている厚生大臣だということをもっと力強く国民の前に言ってお下さい。あなたへの幻想が砕け散るでしょうか。(金沢市・内科)

●厚生行政の全ての見直しが必要。(七尾市・産婦人科)

●「集団的個別指導」の名称を「集団説明会」に変更すること。(金沢市・内科)

●国民の医療福祉の向上に本気で取り組んで下さい。(金沢市・内科)

●政府の企図する改革は「改善」ではなく「改悪」であることを十分考慮し、考え直して欲しい。(鹿島郡・内科)

●岡光事務次官の無駄使いを医療費へ回して下さい。(松任市・小児科)

●一部厚生省高級幹部と悪徳業者の癒着が国民の血税を浪費し、一方弱い老人に対し医療費増を求める施策には断固反対する。まず、厚生官僚の姿勢を正すことが先決である。(金沢市・内科)

国民署名 達成状況

34,806人

(12月12日現在)

●(松任市・内科) 極めて当たり前の要求の見直しが必要です。現在の私たちが言う増やすことより、無駄な支出をやめることの方が先決です。厚生省での事件を再考してください。(金沢市・内科)

●裏面諸事項の実現を要求いたします。(能美郡・内科)

●憲法をよく読んで！基本的な人権が保障される日本社会に。政、財、官の癒着を断て。天引き、企業献金の禁止が必要。(金沢市・内科)

●健康、生命はお金で買うものではありません。憲法で保障された権利です。患者が医療にかかりにくくすることは絶対に許せません。(金沢市・整形外科)

●厚生行政と民間との癒着は絶対に許せない。(金沢市・眼科)

●「改革」反対します。よろしく。(金沢市・内科)

●みんな手をたずさえて目的完遂のため頑張ろう。(金沢市・内科)

●行革を先行し国家財政に反対する。(能美郡)

●経費(人件費、材料費、技術料など)上昇に伴う保険点数の引き上げを。患者負担、医療機関の増加、経費率の上昇に伴い、一医療機関の収入は確実にダウンしています。(金沢市)

●保険で「白い歯」を入れて欲しい」との患者のニーズにこたえるために前装鍍造冠の小白歯への適用を希望します。(金沢市)

●国民負担になる改革は絶対賛成できません。(鹿島郡)

●医療の将来に対する明確なビジョンを示して欲しいと思います。(金沢市)

●医療保険制度の「改革」に反対する。(能美郡)

〈歯科〉

国民署名は1月の通常国会に提出します。(1月10日までに協会までお送り下さい)

国民みんなが怒っている！

最近の新聞の投書欄には、連日のように国民の怒りが掲載されています。本稿は十一月二日付の北国新聞「地鳴り」に掲載されたもので、ご本人の承諾を得て、転載させていただきます。(編集部)

老人医療費の改悪について

山森 富雄 69歳(金沢市)

十一月二十七日、医療保険審議会は、来年度に実施する改革案を小泉厚生大臣に答申した。

現在の制度で老人医療費が定率になった場合の一カ月の入院費は八万六千四百円であるが、改正後はさらに高額になることとは必至である。現在の高齢者の所得は、夫婦の家族で年金額は月額平均約二十万円という。したがって十万円代の人々が多数おられることを忘れてはならない。この所得では夫婦二人の入院は不可能で一人は家で死を待つ上国の援助、無償供与など、多くの見直しを要するものがある。それにもかかわらず、高齢者見殺しとも言えるこのたびの老人医療費の改悪先行は、「国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定した憲法二五条に違反した、悪政と言わざるを得ない。すべての国民は、今こそ老人医療費の改悪に立ち向かわねば、悔いを後世に残すと私は憂慮する。

12.1全国保険医総決起大会 7地区医師会から賛同

大会の報告記事は新年号に掲載します。賛同をお寄せいただいた地区医師会には心よりお礼申し上げます。

- 小松市医師会 会長 川北 正
- 石川松任郡市医師会会長 会長 矢ヶ崎英樹
「全国保険医総決起大会の盛会を祈ります。」
- 河北郡医師会 会長 中田 勲
「高松会長への支持大で、11月20日の理事会で決定しました。」
- 羽咋郡市医師会 会長 今井 利平
- 鹿島郡医師会 会長 辻口 昇
「理論武装して頑張ってください。」
- 輪島鳳至医師会 会長 宮下 友吉
- 珠洲医師会 会長 井端 孝義
「国民医療を守り発展させる全国保険医総決起大会に大いに賛同いたします。大会の成功をお祈り申し上げます。」

「国民生活白書」に大阪協会の調査が引用

日本の薬価は欧米より高い

国民生活白書は、政府・

経済企画庁が国政の各分野の現状と課題を報告書の形で広く国民に提示する公文書である。本年度の国民生活白書に「日本の医薬品価格が欧米に比べて高い」とする大阪府保険医協会の薬価の国際比較調査資料(図表)が掲載され、大きな波紋を呼んでいる。

大阪協会の一九九四年薬価の国際比較によると、日本の薬価はアメリカの一・一倍、ドイツの二・四倍、フランスの二・七倍、イギリスの二・七倍となっている。

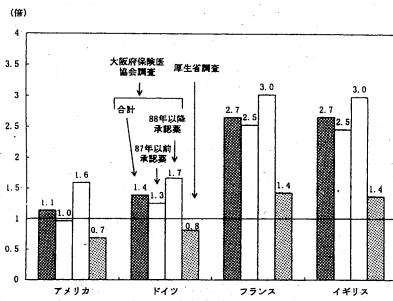
白書に掲載された厚生省の調査は、一九九三年に世界的に広く使われている上位三十品目を対象にして、

これに対し、大阪協会の調査は、一九九四年の日本でもよく使われている六十品目を対象にしており、大阪協会の方が調査年が新

しく、品目数も多いため、より実態に即している。厚生省の調査こそ実態を反映しておらず、新薬の高価薬を守ろうと躍起になっている。医薬品業界の擁護のためとみられても仕方がない。薬害エイズ問題、岡光前事務次官の汚職疑惑など関係業界が絡む不祥事が相次ぐ中で、厚生省の体質がまたしても明らかになった。

平成8年度版 国民生活白書に掲載された薬価調査資料

第1-5-6図 日本の薬の内外価格差 (各国の価格に対する日本の価格の倍率)



1. 厚生省調査は、93年に世界的に使用されている上位30品目。
 2. 大阪府保険医協会「薬価の国際比較-1994年薬価の国際比較」は、日本の94年の推定市場規模で上位106品目中、94年現在少なくとも日本以外(米・英・独・仏)の1ヵ国以上で使用されている62品目で比較。
 3. 薬価比の幾何平均である。

ちょっと聞いて (その22)

さきごろ、ある患者さんが血相を変えて診察室に現われた。

「センセ、わたしや頭に来た。ちょっと聞いてください。この間、また腎石発作が起こって、あ

ある患者の叫びから

安藤 良一(金沢市・内科)

る医院から紹介されて近くの病院に行ったんです。散々検査の揚げ句、下から管を入れられたが、無麻酔で痛い何の何の。十七万円も支払って、それで

年医師の苛立ちと当たり

〇〇〇〇日常診療におけるあんなこと・こんなこと〇〇〇〇

も取れりやまだしも、その若い医者いわく、「あなたは糖尿病があるから危険で、これ以上の手術はできない。それにしても、あなたの受けている糖尿病の治療は間違っています。センセ、わたしやセンセに糖尿病を診てもらって三十年ですよ。そしてこんな元気や。あんまり腹立って大げんかしてきましたワ。」

私はだまって聞くだけにとどめておいた。あたりまえのことではあるが、技術や機器の格差で治療が奏効せず、戸惑った青年医師の苛立ちと当たり

散らしは分らないことは

ないが、患者を怒らすほどの責任転嫁は感心しないし、縁もゆかりもない他科の専門医を根拠もなく批判するなどは慎みたい。そして、患者さんのクチコミは、時として病院の屋台骨をも揺るがしかねないことに気付いてほしい。

後日談。この患者さん、県立の総合病院に再紹介され、体外衝撃波治療で無事に腎石三個を破碎、その入院期間中に糖尿病と胃カイトヨウは、当院所の処方でも内服を続けて、最近、退院した。

このコーナーの原稿を募集しています

北山吉明ドクターの南アフリカ共和国

訪問記 (その5)

喜望峰物語

(第一話)

例えようのない美しさ

アフリカ大陸の南西の果てに位置する喜望峰に

果てに位置する喜望峰に到る道の美しさは例えようもない。それは僕たちが日本で見る景色とあまりにも異質だからである。慣れるまではいささかのめまいさえ覚えてしまう。その美しさは海

と硬い岩肌の織りなすモザイク模様である。それが日本の数倍のスケールをもつて立ちのぼる。とき、僕はただ言葉が失ってしまう。

喜望峰へは、硬い岩盤が急峻な断崖を形成し海になだれ込む地形が百キロ以上続いている。断崖は二つの古い地層が重なってできており、その中ほど、ちよつと二つの地層が接する辺りに道がつくられている。赤と黒の地

層に白い道。断崖は三色の帯となり、果てしなく伸びている。

手つかずの

自然の中で

断崖が群青の海に滑り落ちる辺りには、ところどころ半円形の真っ白な砂浜が散在している。砂浜は全く自然のままである。おそらく数百年前、いや数千年前から今あるがままの状態に波に洗われてきたのであろう。手つかずの自然の中に放り出されると、急に時間の単位が巨大化するのを感じてしまう。

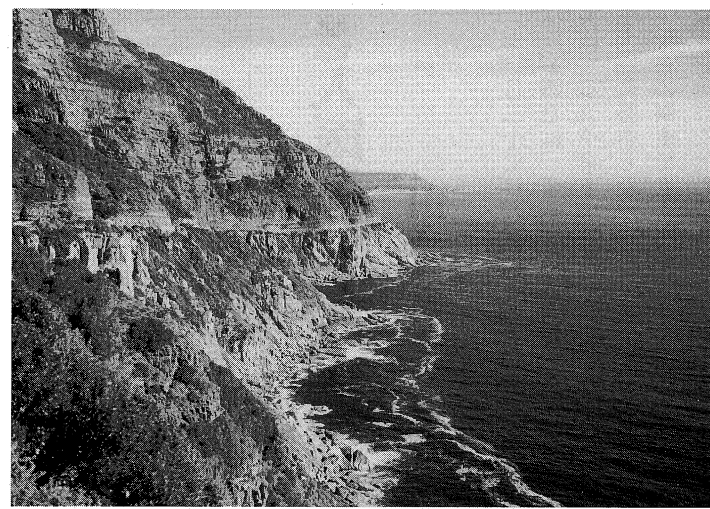
人は単なる

自然の構成員

空の高さ、海の広さ、地平線の遠さ、岩盤の大きさ、そして時間の長さ。日本の物差しが遙かに及ばない自然の中では、日本人という意識も消えてしまふ。

改めて知った 大きさへの感動

モザイク模様の断崖の遙か彼方、紺碧の海原を切り裂いて、突き出た巨大な影が見える。喜望峰である。岬は大きな傘をかぶせたような灰色の厚い雲がたれこめ、そこだけ他と天候が違っている。かつて喜望峰は嵐の岬と呼ばれていた。岬へは、海から常に強い風が吹き荒れ、沖合には多くの船が嵐にあおられ波にの



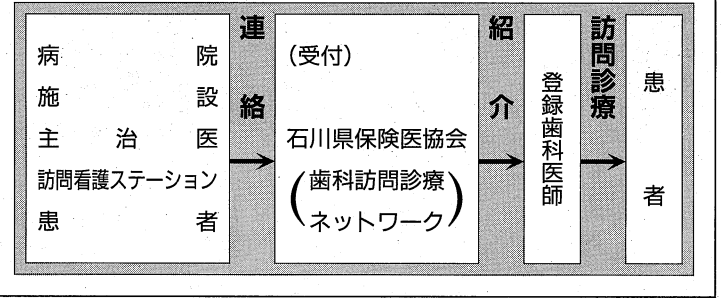
100メートル以上の高さの断崖が続く喜望峰への道は、美しさとスケールの大きさに圧倒される

目覚めたと言ってもいい。以来、人は自然の単なる構成員に過ぎないのだと確信するに至った。

訪問歯科診療のネットワークを発足

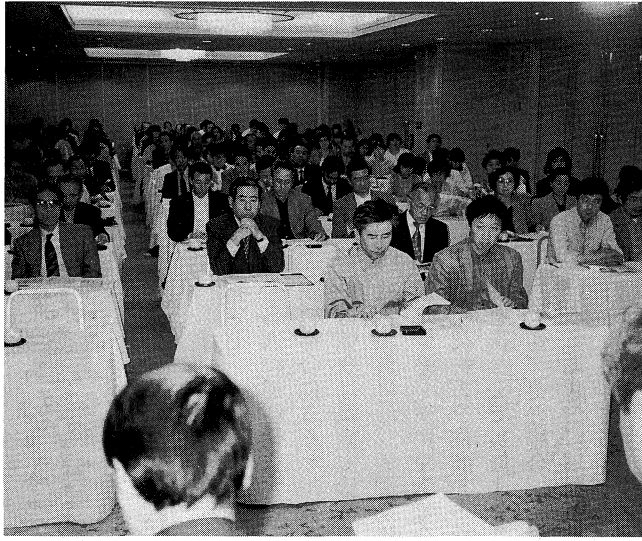
石川県保険医協会
訪問歯科ネットワークをご利用ください。

高齢社会の到来により、訪問歯科のニーズは高まっており、石川県保険医協会歯科部では歯科医師としての社会的責務を考え、「訪問歯科診療ネットワーク」を発足しました。「訪問歯科診療ネットワーク」では、次のようなシステムを考えています。



在宅や施設での歯科診療の機会拡大のため、訪問歯科診療のネットワークを発足させた。(7月1日)

指導問題会員懇談会を開催



新指導大綱、新監査要綱の解説と対応についての懇談会を開催した。会員の関心は高く、93医療機関から127人が参加した。(5月19日)

介護保険の学習会に講師派遣



介護保険についての学習のために各種団体からの講師派遣があり、出かけた。(1月8日・20日)

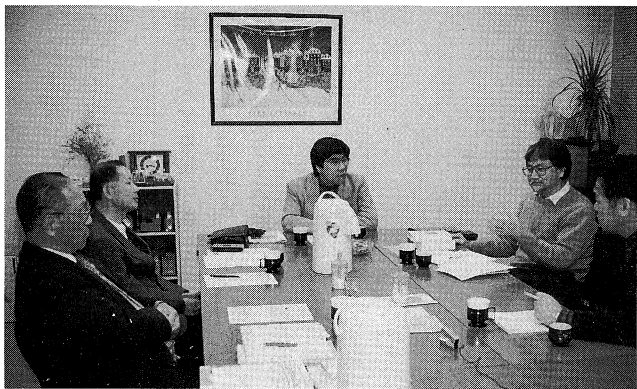
ドクターズ・ファミリー・コンサートを開催



初めて、手作りコンサートを開催した。(10月6日)

1996年
協会トピックス

薬害エイズ問題で各所に緊急要請



薬害エイズ問題の解決を求め、厚生大臣、および当該製薬企業、日本学術会議、日本医師会、日本歯科医師会に、それぞれ緊急要請を行った。(4月10日)

また、今後の運動を発展させるために、1997年新年号の特集として「座談会」を開催した。(12月2日)

医療保険改悪反対の署名活動を開始



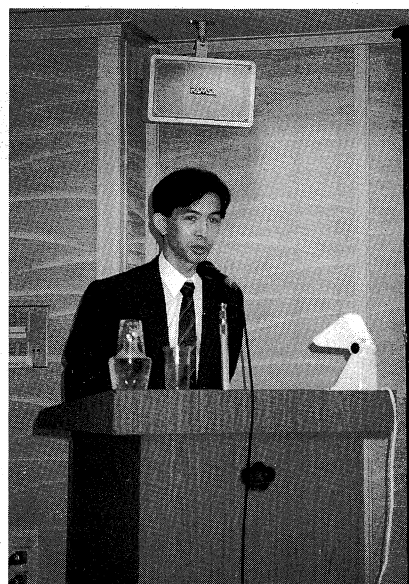
医療改悪を阻止するための運動の一環として、署名運動を開始した。これまでの14,000人を大きく上回る35,000人に達している。(12月12日現在)

医療廃棄物処理の実習会を開催



9月に実施した医療廃棄物処理のアンケート集計をもとに、医療廃棄物処理の実習会を開催した。(10月19日)

10回のシリーズ化を目標に、矯正歯科窪田ゼミナールを開始した。(7月14日)



矯正歯科窪田ゼミナールを開始

障害児学校養護教諭との懇談会を開催



障害児(者)問題に取り組むため、学習の機会として、障害児学校養護教諭との懇談会を開催した。(5月28日)

職員雇用に関する懇談会

職員の勤労意欲を高めるために

吉田 均(辰口町・小児科)

十一月十六日、金沢都ホテルで、「魅力ある職場づくりとスタッフ対策」をテーマに職員雇用に関する懇談会が開かれた。

昨年同様、講師として社会保険労務士の久乗政勝先生、助言者として協会顧問税理士の中村栄希先生をお招きした。久乗先生は相変らず軽妙洒落なお話ぶり

で、質問に対しても可否をはっきりと答えられ大変勉強になった。



右から中村栄希顧問税理士、久乗政勝社会保険労務士、吉田 均理事

ボーナスの支給率は全員の目標を与え、達成したと同じにし、働き具合によってプラス・アルファする方法が勧められる。査定理由と上乘せ分をきちんと説明すると、勤労意欲が高まる

話題のすべてを短い紙面ではお伝えできません。質問は遠慮なく久乗先生まで(0761(21)1125)。

秋の食べ歩き会

おいしかった主計町の夜

北山 真実(金沢市・北山クリニック)

山々が雪を戴き、北の方から雪便りが聞かれはじめて、いよいよ海の幸の美味しさも増してきます。

毎回好評の食べ歩き会。

今回は横井衛先生(金沢市・小児科)のご紹介で、主計町(かぞえまち)のカキ鍋専門店「みふく」を訪れました。

まず、「こもち昆布」の箸休めを味わいました。仲居さんが運んできたステンレス製の浅い鍋には、秘伝の割り下の中に西京味噌と、すりおろしショウウガの二段重ねが大きな島のように置かれており、一同、驚嘆の声を挙げました。



デザートのみかんを片手にオイシイゾー！(11月12日)

ネギ、シイタケ、エノキ、しらたき、焼き豆腐、麩餅を入れます。カキはもちろんのこと、ネギにもこだ

十一月二十三日、東京・三省堂文化会館において、保団連審査、指導・監査対策担当者会議が開催された。

保団連審査、指導・監査対策担当者会議

模擬指導研究会に盛り上がる

西村 邦雄(金沢市・内科)

われないことが明らかにされた。石川県だけが集団的個別指導を夜間に実施しているという点も特筆すべきことで、全国一律でなく、いい点であろう。全国と比較して厳しいところは、各県ごとに協会や医師会が県保険課と折衝して是正を求めていくべきであろう。

会議の後半では、脚本に則って模擬個別指導が行われた。予備知識を持たずに受ける場合と、十分準備して受ける場合とを対比して、寸劇的に行われた。笑わせ場面もあり、インパクトは大きかった。個別指導対策をいくらか詳しく文書で書いても実感できないところもあり、寸劇で見せる手法の説得力に脱帽。これは石川協会でもぜひ、やっていただきたいと思つた次第。

カキ鍋専門店 みふく

金沢市尾張町二丁目十六の三十七(浅野川大橋を主計町へ川沿いに下る) ☎0762(31)4577

さて、取り鉢の中には何と生卵があります。これにあつあつの具を浸して食べるといのです。ショウウガの味に白味噌の新しいほの甘い味が生きて、何の異和感もありません。



明るい笑顔のスタッフのみなさんと一緒に

おしゃべり

林 洋司

先生の巻

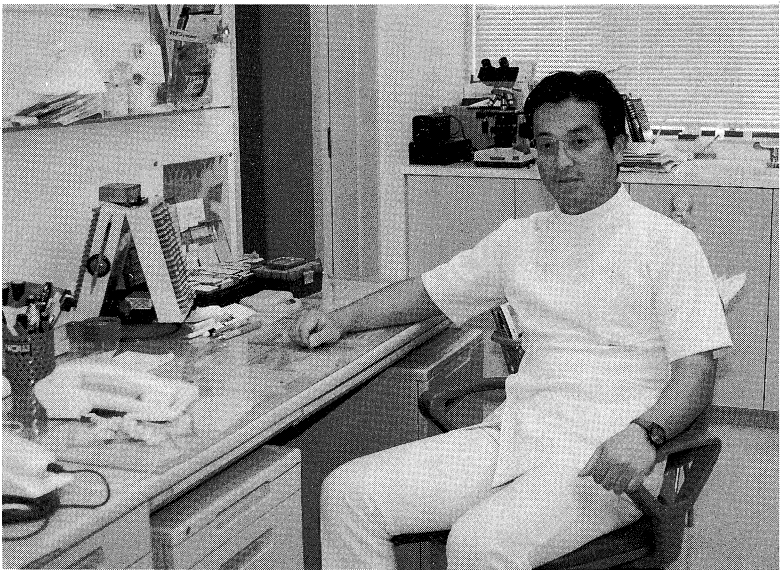
林形成外科クリニック

金沢市西念町85街区17

レーザー治療を とことんやりたくて

今回は金沢市西念町の林洋司先生をお訪ねしました。先生は一九八〇年に金沢大学医学部を卒業し、金沢医科大学形成外科、浅ノ川総合病院形成外科を経て、一九九四年に現在の地に開業されました。

「林先生と言えばレーザー治療で全国的に有名ですね。大病院の方がレーザー治療を行う上で都合がよいと思うのですが、あえて開業された理由を教えてくださいませんか。」
「林」レーザーのような先端技術の器械は日進月歩です。器械の進歩が直接治療の進歩につながる分野です。から、器械の新旧による差は他の医学領域とは比べものになりません。しかし、病院となると予算の都合があり、再々買い換えることが不可能です。そんなシレンマの中で出した結論は、必要な器械を思うように購入し、レーザー治療を徹底的にやるなら開業するしかないと考えたからなんです。やりたくいことをとことん追求するために選んだ道ですね。ところで先生のレーザーとの出会いについてお話しいただけますか。」



レーザーとは切っても切れない関係……と、林 洋司先生

器械が壊れやすく 維持費がたいへん

「あざのレーザー治療について簡単に説明していただけますか。」
「林」現在、二百の色素レーザーと一台のQスイッチレーザーを使っています。色素レーザーでは赤あざ(血管腫)と茶色あざ(扁平母斑)を、Qスイッチレーザーで青あざ(太田母斑)や黒あざ(色素性母斑)、入れ墨などを治療しています。

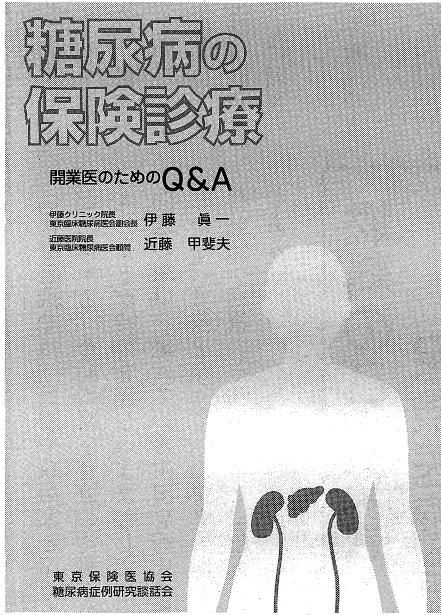
レーザーの最大の特徴は、表面に傷を残さず色だけを消し去るといことです。これはあざ治療の究極ですね。」
「あざの患者さんにとつて大きな福音ですね。大変高価な器械ということですが、採算はとれるんですか。」

「林」まず、器械がデリケートで壊れやすいんです。頻回の修理と消耗品が高価で、維持費がかさみます。治療費の問題では、保険診療と私費診療をケース・バイ・ケースで使い分けています。金沢では東京並みの私費治療費を要求しても、患者さんの理解はまず得られません。それに基本的に先天性異常の疾患であるものに美容手術の治療費を求めるとは問題があると思うのです。」

「高度医療で対象地域も広範囲にわたっている場合、いろいろご苦労があると思いますが、いかがですか。」
「林」レーザー治療の内容を知ってもらうための宣伝には力を入れています。あざの患者さんは北陸三県から来られます。医師や知人の紹介で受診する患者さんが大部分ですね。苦労と言いますが、学業や論文は続けるよう努力しています。海外的学会に行く機会が減っ

者さんとの時間の使い分けが大変です。」
「開業されてからの生活は、勤務医時代とかなり変わりましたか。」
「林」肉体的にかなり疲れますが、学業や論文は続けるよう努力しています。海外的学会に行く機会が減ったのが寂しいですが、その分、ゴルフは楽しんでます(笑)。」
「取材後記」
林先生のように「高度の専門性を持った開業医」が、今後の医療と患者の開業医に対する認識をどのように変えていくのでしょうか。すぐに答えの出る問題では

新刊案内



発行：東京保険医協会
B5版・156頁・1冊3,600円

糖尿病の保険診療

開業医のためのQ&A

10年間の研究活動の集大成

東京保険医協会では、1985年より糖尿病症例研究懇談会を開催してきた。対象は糖尿病専門外の先生方、またこれから糖尿病診療の勉強を始めようとしている先生方である。この度、10年間の研究活動の集大成として「糖尿病の保険診療——開業医のためのQ&A」を作成した。内容は、単なる症例集にとどまらず、第一線糖尿病外来診療に必要な検査、食事指導、運動療法、薬物療法、肥満、合併症など糖尿病治療の全領域について、200を越えるQ&Aで構成した。日常の糖尿病診療で判断に迷ったとき、索引から「Q」を見つけ出し、該当頁を開けば即座に「A」が確認できるというものである。合わせて症例(31例)、レセプト請求例を添えた。糖尿病保険診療の手引書として、また成書を読む場合の入門書として活用され、開業保険医の糖尿病保険診療の向上に役立てていただければ幸いである。(東京保険医協会)

お申し込みは協会事務局まで(会員・送料無料) TEL0762(22)5373/FAX0762(31)5156

石川県医事文化史跡めぐり

<20>

日中伝統医学復興の功績

——湯本求真先生顕彰碑——

多留淳文(日本医史学会評議員 金沢市・内科)



湯本求真先生顕彰碑(金沢市兼六町)

医学館遺構の東方、金一九八〇年(昭和五十五年)に金沢で第三十一回日本東洋医学会学術総会の開

会頭(藤田邦彦金沢市医師会会長のご尊父)の発案に、有志が協力、建立したものである。碑の前面には「東西医学、融合統一」と記されているとおり、湯本求真先生は、皇漢医学の復興に大きな影響を与え、古くは漢方医学を新らしい西洋医学の原理を以て解説、両者の長所を取り、短所を捨てる東西医学の折衷を唱えた。湯本求真(本名、四郎衛門)先生は、一八七六年(明治九)三月二十一日、わが石川県の七尾市鶴浦に生まれた。金沢医学専門学校の第一回卒業生で、七尾や東京で開業。長女を疫痢で失い、たま

た和泉啓十郎著『医界の鉄椎』(私家初版、南)の言葉

江堂発売、一九一〇年)を出版。当時衰微した日本に於いて『皇漢医学』の出版は、漢方医学の復興に大きな影響を与え、古くは漢方医学を新らしい西洋医学の原理を以て解説、両者の長所を取り、短所を捨てる東西医学の折衷を唱えた。湯本求真(本名、四郎衛門)先生は、一八七六年(明治九)三月二十一日、わが石川県の七尾市鶴浦に生まれた。金沢医学専門学校の第一回卒業生で、七尾や東京で開業。長女を疫痢で失い、たま

サイコロジカル・ショート・ショート

マインドコントロール編(その19)

追い越し車線を走る奴

大石ひろし

料金所を過ぎ、高速道路の加速車線に入った。サイドミラーを見ると、大型トラックが走行車線をばく進して来る。その後ろに入ろうとアクセルを踏むと、体がバックシートに沈んだ。
(何という軽さだ)
新車の加速に岡田譲治は満足した。新マークII、二百八十馬力、最高時速二百五十キロ、ゼロヨン十四秒、ベンツE320やBMWの5シリーズよりずつ

と速い。ゴルフ場への初めての遠出だ。サーッとタイヤの音がして、後ろにいたタクシーがかなりのスピードで追い越していった。
(よし、どれだけスピードが出るか、やってみよう)
譲治は追い越し車線に出てタクシーを追った。アクセルを踏み込むと鳥のように飛ぶ。ハンドルが軽いせいか、緊張して握った手のひらが濡れてきた。
タクシーを追い越し、その前を行くブルーバードが目の前に追った。それを追い越すと、もう譲治のスピードは止まらなかつた。譲治の頭の中は、前を行く車を追い越すこと、それ以外は何もなかつた。
(昨夜の暮に負けたのは残念だった。あそこで一手、守ってれば...) また、アクセルを踏んだ。
業者の言葉が思い出された。
(岡田さん、あなたは日本の医療の総元締めですよ。あんな官舎でなく、立派なマンションに住むのは当然です。六千万ぐらいなんですか...) チクショー、医者なんかには負けてたまるか) 譲治の乗った車は、次々と目に入った前車を追い

越していった。そして譲治は、めざすゴルフ場へのインターチェンジへ来たときにも、気が付くと追い越し車線で前車を追い越していった。
アメリカのカルト(アンチ・キリストの立場をとる異教・異教集団)が、ターゲットにねらいを定める際に「イン・ザ・ファースト・レーン(追い越し車線)の人を狙え」というのがある。
エリートたちはみな追い越し車線を走っている。人を追い抜き、出し抜き、いつも優等生になろうと張り合っている。心の底では自分も走行車線へ降りて景色を見てゆっくり走りたいたいと思っても、そんなことをすると人生の敗北者に見えないかと心配している。こんなエリートたちがだまされやすいという。だまされたいと思っているわけではない。警戒心が薄いわけでもない。こうなつて欲しいという『欲』が強いからである。有名になりたい、金持ちになりたい、リーダーになりたいなど、目的意識、競争意識が強すぎるのである。そして、それゆえに周囲の状況が見えてこない。
そんなエリートを狙うマインド・コントロールがある。

と速い。ゴルフ場への初めての遠出だ。サーッとタイヤの音がして、後ろにいたタクシーがかなりのスピードで追い越していった。
(よし、どれだけスピードが出るか、やってみよう)
譲治は追い越し車線に出てタクシーを追った。アクセルを踏み込むと鳥のように飛ぶ。ハンドルが軽いせいか、緊張して握った手のひらが濡れてきた。
タクシーを追い越し、その前を行くブルーバードが目の前に追った。それを追い越すと、もう譲治のスピードは止まらなかつた。譲治の頭の中は、前を行く車を追い越すこと、それ以外は何もなかつた。
(昨夜の暮に負けたのは残念だった。あそこで一手、守ってれば...) また、アクセルを踏んだ。
業者の言葉が思い出された。
(岡田さん、あなたは日本の医療の総元締めですよ。あんな官舎でなく、立派なマンションに住むのは当然です。六千万ぐらいなんですか...) チクショー、医者なんかには負けてたまるか) 譲治の乗った車は、次々と目に入った前車を追い

と速い。ゴルフ場への初めての遠出だ。サーッとタイヤの音がして、後ろにいたタクシーがかなりのスピードで追い越していった。
(よし、どれだけスピードが出るか、やってみよう)
譲治は追い越し車線に出てタクシーを追った。アクセルを踏み込むと鳥のように飛ぶ。ハンドルが軽いせいか、緊張して握った手のひらが濡れてきた。
タクシーを追い越し、その前を行くブルーバードが目の前に追った。それを追い越すと、もう譲治のスピードは止まらなかつた。譲治の頭の中は、前を行く車を追い越すこと、それ以外は何もなかつた。
(昨夜の暮に負けたのは残念だった。あそこで一手、守ってれば...) また、アクセルを踏んだ。
業者の言葉が思い出された。
(岡田さん、あなたは日本の医療の総元締めですよ。あんな官舎でなく、立派なマンションに住むのは当然です。六千万ぐらいなんですか...) チクショー、医者なんかには負けてたまるか) 譲治の乗った車は、次々と目に入った前車を追い

碁

■出題者
七段 向井富治(金沢市・内科)
乗岡栄一六段のパソコン通信碁に現れました。黒番で無条件で生きて下さい。

(解答は2面)

燃料の注文は 保険医協会まで

「官僚組織では、民間や政治家と深くかわる官僚が出世する。今回の厚生官僚の汚職事件は、一部のエリートが特権を欲しいままにして招いた」と官僚問題の取材を続けている生田忠秀氏は指摘している。しかし、官僚を操っていた業者の濡れ手に粟の不当利益は、官僚のそれをはるかに超えて数十億円なのである。

燃料の注文は 保険医協会まで

保険医協会では、日本石油(三谷石油)およびエッソ(石川米油)の暖房用燃料、自動車用燃料(全国カード)を取り扱っています。配達可能地域や価格については保険医協会まで、お問い合わせください。
☎0762(2)5373

事務局休務のお知らせ

十二月三十日(月)から一月四日(土)まで事務局を休務させていただきます。ご了承ください。